

第6回社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成18年3月23日（木）午後3時～4時50分
- 2 **開催場所** 浦安市中央図書館 1階 集会室
- 3 **出席者**
(委員)
舟田委員長、梅澤副委員長、山本委員、指田委員、中村委員、津矢田委員、
田中委員
(事務局)
生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、市民スポーツ課長、青少年課長、
美浜公民館長、中央図書館長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館副館長、
青少年センター（兼）青少年館長、生涯学習推進係
- 4 **議 題**
 - (1) 前回会議内容の確認
 - (2) 協議事項
 - 1) 平成17年度 社会教育関係団体の認定申請について
 - (3) 報告事項
 - 1) 平成17年度 家庭教育講演会の開催結果について
 - 2) 第32回 私たちの教養講座の開催結果について
 - 3) こども体験広場「このゆびとまれ」の開催について
 - 4) 第15回東京ベイ浦安シティマラソン実施報告について
 - 5) 花見ウォーク2006の開催について
 - 6) 平成18年度 春季市民体育大会の日程について
 - 7) 新浦安駅前プラザ「マーレ」の概要説明について
 - (4) その他
 - 1) 答申後における市教育委員会の取組状況等について(委員からの質問)
 - 2) 次回会議日程について
- 5 **議事の概要**
 - (1) 前回会議内容の確認
平成17年度第5回社会教育委員会議の議事録については、承認された。
 - (2) 協議事項
 - 1) 平成17年度 社会教育関係団体の認定申請について（1件）
ギターサークルbay6 承認
 - (3) 報告事項
 - 1) 平成17年度 家庭教育講演会の開催結果について
 - 2) 第32回 私たちの教養講座の開催結果について

- 3) こども体験広場「このゆびとまれ」の開催について
1) ないし3) について、生涯学習課長より報告及び説明を行った。
- 4) 第15回東京ベイ浦安シティマラソン実施報告について
- 5) 花見ウォーク2006の開催について
- 6) 平成18年度 春季市民体育大会の日程について
4)ないし6)について、市民スポーツ課長より報告及び説明を行った。
- 7) 新浦安駅前プラザ「マーレ」の概要説明について
青少年課長より説明した。

(4) その他

- 1) 答申後における市教育委員会の取組状況等について(委員からの質問)事務局及び所管課より説明した。
- 2) 次回会議日程について
次回の会議は、平成18年4月20日(木)に臨時会を開催予定。

6 会議経過

(1) 前回会議内容の確認

前回開催の第5回社会教育委員会議の議事録については、承認された。

(2) 協議事項

1) 平成17年度社会教育関係団体の認定申請について(1件)

平成17年度社会教育関係団体の認定申請について、新規に申請のあった団体の概要を生涯学習課長より説明した。

その際に表明された質問及び意見は、次のとおりである。

《ギターサークルbay6》

(意見) 認定団体になると会場使用料が減免となる。18年度予算に記載されている会場使用料が、実際にどのような目的に充当されたのかを抑えていただきたい。

(回答) 年度終了後に、新規に認定した団体については、決算書を提出いただく。

(質問) 文化会館や市民プラザの使用料についても減免措置があるのか。

(回答) 公民館使用料と同じような全額免除ではない。

(質問) コンサート入場料や交通費は会費からの支出ではなく、個人負担とすべきと考えるがいかがか。

(回答) プロミュージシャンの演奏を聞くということで、一部を会費から負担している。合宿の際の交通費についても、同様に一部負担としている。

(質問) 強化合宿はどこで行う予定なのか。

(回答) 千葉の鴨川市で予定している。

(質問) 市所有のバスを使うということで、高速代等に使う予定でいるのか。

(回答) 認定されていないので、市教育委員会所有のバスは使えない。

(意見) 交通費の他に合宿用の別途の会計があり、その一部を交通費として補助していると考え。一人当たり5,000円程度の補助となるのでは

ないか。

(意見) 予算の中に個人で負担すべきものが含まれている。団体から支出するものと個人で負担するものとを分け、団体予算を精査いただくような条件を付すことはいかがか。

(意見) 一割負担であれば問題はないが、一人当たり5,000円程度の負担ということは、かなりの額を団体で補助していることになる。また合宿場所が鴨川市であれば、全額の交通費が負担されるのではないか。

(回答) 補助金が交付されていない団体であるので、会員の中で全部賄うという状況である。

(意見) 認定団体になった場合の個人への補助の使い方は、認定の前後で変わってくるのが良いと思う。

(質問) 代表者と講師が同一人物である。またギター教室を主宰している方でもあるので、外部から見るとこのサークルはギター教室を開設していると誤解を招く恐れがあるのではないか。

(回答) 予算を確認したが、講師謝礼を支払っていることはなく、ボランティアとして講師を務めている。

(意見) 会費が1,000円であり、教室ということであればもっと高額になると思う。

(意見) 代表者と講師が同一人物であるので、変更したほうが良い。外部から見ても誤解を招かないような対応を取って欲しい。

(回答) 会長以外の役員もいるので、会長一人で会運営に携わっているわけではない。個人の会費についても会運営にかかる費用に支出されている。決算に不明確な金額の支出等があれば精査していきたい。

(3) 報告事項

1) 平成17年度 家庭教育講演会の開催結果について

2月18日に開催した同事業について、生涯学習課長より報告した。その際に表明された質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 公民館で開催している家庭教育学級の学級数を教えて欲しい。

(回答) 美浜公民館では幼稚園1学級、小学校1学級を開設している。公民館エリアにより学級数の変動はある。なお、中学校については企画委員による運営で全市的に行っている。

(質問) 市内全体での状況はいかがか。

(回答) 資料がないので正確な数値は掌握していない。

(質問) 今年度と来年度の予算で、家庭教育学級の経費に変動はあるのか。

(回答) 美浜公民館では2学級を予定し、1学級7万円で合計14万円の予算であり、今年度と変動はない。

(意見) 家庭教育学級に参加し、様々な話を聞くことができたほか、学級生とのディスカッションを通じて、様々な触発を受けたり、自分の子育てを振り返って肩の荷が下りたりするなど、とても良い事業である。

(意見) 幼稚園にいた頃、市役所からの事業案内チラシを配っても、参加希望

が1、2名という状況であり、どなたかが中心となり声かけを行うことで人数が集まるという状況がある。

(回答) 富岡公民館では、人のつながりが構築されている。美浜公民館では、一時期、家庭教育学級が成立しない時期があった。幼稚園に入園した保護者の方は家庭教育学級とはどのような事業であるのか分からないため、公民館でサークル活動をしている方の中で家庭教育学級の経験者もいることから、その方を通じて広く声かけをしていただいた。

(意見) とても良い施策だと思うが、なかなか広がってこないのは寂しい。

(意見) 家庭教育学級で招聘した講師の話を再度聞きたいということもあり、その発展型として公民館事業に計4回の講座を立ち上げていただいた。また、富岡公民館では、父親の家庭教育学級を開設していただき、両親が参加することで、子育てに対して話し合う機会が増えた。

(意見) 内容的には必要な事業である。しかし家庭教育学級の内容もよく分からないということもあるし、各家庭で悩んでいる課題をその場で出し合うことに躊躇してしまうことも考えられる。

事業開催自体には問題はないが、事業内容や活動について説明をする場を設けて広報していけば、多くの方の参加が見込めるのではないか。

(意見) 家庭教育学級の集大成として講演会を開催したということである。開催の周知方法等を工夫して、市民の多くの方が参加できるようにしていただきたい。

2) 第32回 私たちの教養講座の開催結果について

2月26日に開催した同事業について、生涯学習課長より報告した。その際に表明された質問は、次のとおりである。

(質問) テーマを設定する際、市民への意見や要望を取り入れているのか。

(回答) 講座終了後に、希望するテーマや講師を記入いただくアンケートを実施している。その結果を参考にして設定している。

また、時宜に適したテーマや講師もいるので、それに市民の要望がマッチしないと多くの参加者を集客することは難しい。できるだけ集客効果の期待できるテーマや講師を選定している。

(意見) 開催当日はちょうど雨天ということもあり、参加者が少なかったという状況もある。1度限りの講座ではなく、市民大学のように継続して開催することもできるのではないか。

(回答) 加えて、場所の選定の問題もある。文化会館の小ホールはなかなか予約できない状況にある。

(意見) 学校の空き教室等を活用して、継続的に開催することもできる。

(回答) 予算や、全市民を対象とした講演会ということもある。当初の計画では文化会館小ホールを開催場所として考えていたが、抽選で会場を取らなければならないということになると、希望する日に取れないという状況も発生する。やむを得ない処置として大ホールを選んだ経緯がある。

(意見) 年度末になると、各課で連続的に講演会を実施している。もう少し時

期をばらして開催して欲しい。そのために、市全体で講演会の計画調整をしてみたいか。

(回答) 市民スポーツ課で開催したスポーツ講演会では、講師のスケジュールにより開催日が限定されるというケースもある。

同事業は、大ホールを希望していたが小ホールしか空いていない状況でもあり、会場選定には苦勞する。

3) こども体験広場「このゆびとまれ」の開催について

3月30日に開催する同事業について、生涯学習課長より説明した。委員からの質問及び意見はなし。

4) 第15回東京ベイ浦安シティマラソン実施報告について

2月5日に開催した同事業について、市民スポーツ課長より報告した。その際に表明された質問は、次のとおりである。

(質問) 申込者数は例年よりも多いのか。

(回答) 15回目を迎える事業であるが、過去最高の申込者数であった。

5) 花見ウォーク2006の開催について

4月9日に開催する同事業について、市民スポーツ課長より説明した。その際に表明された質問は、次のとおりである。

(質問) 開催日までに桜が散ってしまうのではないか。

(回答) 気象庁の発表によると、開花時期が3月22日で、開花から満開まで約1週間ということであるので、その点が気がりである。

6) 平成18年度 春季市民体育大会の日程について

4月9日から開催する同事業について、市民スポーツ課長より説明した。その際に表明された質問は、次のとおりである。

(質問) 陸上競技の開催場所が江戸川区の施設であるが、使用可能なのか。

(回答) 陸上競技協会では昨年度から大会を開始し、同場所で開催している。

(意見) 市内で開催できるよう陸上競技場の早期建設を希望する。

(回答) 後ほど平成18年度から20年度の3カ年にわたる第3次実施計画を説明する中で、その点については触れていきたい。

7) 新浦安駅前プラザ「マーレ」の概要説明について

4月1日に開所する同施設について、施設概要を青少年課長より説明した。その際に表明された質問は、次のとおりである。

(質問) 生涯学習部に関係する施設は何か。

(回答) 1階の予約図書受渡し及び図書返却コーナー、2階の子供ギャラリー、3階の青少年交流広場の3箇所である。

(4) その他

1) 答申後における市教育委員会の取組状況等について(委員からの質問)

16年度に答申を受け1年を経過したことから、委員より進捗状況を説明願いたいとの意見が寄せられた。このため、答申の4項目のうち、現状で説明可能な部分について事務局より説明した。

はじめに、社会教育関係団体の認定については、近隣市(市川市、船橋市、

八千代市、習志野市) の状況を調査した結果を配付するとともに、18年度に認定団体の実態調査を実施する旨を報告した。

続いて、答申の中で述べられている「社会教育施設・設備の充実」のうち公民館の適正配置については、18年度から3ヵ年で行う第3次実施計画に掲げた高洲地区及び弁天地区の公民館複合施設整備事業の概略を説明した。このほか、生涯学習部所管の第3次実施計画の重点施策11事業について説明した。

その際、委員より表明された質問は以下のとおりである。

(質問) 弁天地区のふれあいの森公園内に建設されている建物が2棟あるが、それは公民館施設とは異なるのか。

(回答) 詳しい内容は知り得ていないが、公民館施設とは異なるものである。

(回答) 弁天ふれあいの森公園は市民の声を反映した公園作りを進めているが、その一環としての施設であると考えます。

この公園の敷地内を使って、平成20年度に基本構想及び基本計画を策定する予定である。

(質問) 陸上競技場の建設場所はどのあたりになるのか。

(回答) 運動公園の形状変更後の計画では、サッカー場からテニスコートにかけて陸上競技場を建設し、これに隣接して観客席付きの野球場を建設することとなっている。この計画も検証しながら、施設配置も含めて18年度に基本計画、19年度に基本設計及び実施設計を策定し、20年度に一部着工する計画である。

(意見) 今回は多くの資料を提出いただいた。今後、この会議において議題を提案し、委員の意見を述べる機会を設けていただきたい。

また実施計画にも記載されているが、社会教育委員を代表して「浦安市民水源の森」を視察してきた。大変自然の豊かな場所であり、良い体験ができる施設・場所がたくさんある。どのように本市で事業を進めていくのか楽しみに待ちたい。

(意見) 様々な生涯学習ができる場所である。

2) 次回会議日程について

平成18年4月20日(木)に文化会館中会議室で臨時会を開催する。

以上